

第 72 号

大阪市史跡 龍溪禪師墓所 霊亀山 九島院

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号
TEL 06(6583)2725 FAX 06(6583)0908

発行所

発行者

第廿五代住職

奥 田 啓 知 (智證)

従軍慰安婦問題

謝るときはしっかりと

日本維新の会共同代表の橋下徹氏による旧日本軍の慰安婦を巡る一連の発言が火種となり、従軍慰安婦問題について、国の内外に波紋を拡げています。

戦後五十年を経て発表された村山談話の「アジア諸国の人々に多大の損害と苦痛を与えたことを認め、痛切な反省の意を表し、これからお詫びの気持ちを表明する」。また、その二年前に出された河野内閣官房長官の談話「当時の軍の関与の下に多数の女性の名誉と尊厳を深く傷つけたとし、心からのお詫びと反省の気持ちを表明」などが根拠となり、いまだ『従軍慰安婦問題』の呪縛から逃れることができていません。

日本人は、特性として「アイム・ソリー」とわりと簡単に謝る傾向があります。欧米人や他の国々の人達は、なかなか謝りません。謝るといことは、自分の非を認めて、何をされても仕方がないと認めることなのです。謝罪することは全面的に自己の非を認めることになるのです。したがって、謝っ

た以上、相手のどのような報復も我慢せねばなりません。

今年二月、人気アイドルグループAKBのメンバーの峯岸みなみさんが、週刊誌で男性芸能人との交際を報道され、動画投稿サイト「ユーチューブ」で、丸刈り姿で謝罪しました。「恋愛禁止」というAKBのルールを破ったため、自ら反省し決断したとのことで、海外メディアも報道するなど反響を呼びました。

この行動に対しては、話題作りのか、武士道精神の表れなのか、有識者のコメントも色々でした。

武士道では、謝罪のため『切腹』することもあったようで、謝罪するということは、おのれの命をかけるぐらい、いかなる報復にも服する覚悟をもって謝ったのです。

至道無難という、江戸時代中頃の禅僧ですが、ある商家でその主人と話している時に、別の店の使いが来て、主人にわたしたお金がなくなり、至道に疑いの目がかかりました。至道は弁解もせず、そのお金をだして



主人に渡したそうです。ところが数日たって、なくなったお金がそっくり出てきて、主人はすぐさま至道のところに駆けつけ平謝りしたところ、「そうですかでてきましたか」と至道は顔色を変えず、お金を受け取ったそうです。

真実は何時かは晴れるものです。そのような強い信念をもって、悪口に耐えるべきなのです。仏教的に言えば、悪口を言っている相手を見遇ごしてしまいう大きな度量を持つべきなのです。

そうした大きな度量がないのなら、最初から徹底的に従軍慰安婦の真偽を訴え、その点について謝罪する必要などなかったのでは・・・。

波濤の夢

(龍溪禪師一代記) その十三

龍溪と隠元禪師⑨

寛文大津波に水定示寂

寛文十年(一六七〇)龍溪六十歳の二月三日、木庵の六十歳の賀寿(生誕日)を祝い、三月二十六日には、仙洞御所で後水尾法皇に「証道歌」を進講した。

証道歌は唐の詩人永嘉玄覺の作で、永嘉が禪宗六祖の慧能大鑑禪師に参禅して大悟した要旨を古詩体に表示したもので、曹洞宗では重視している。

四月十五日、後水尾法皇は正明寺に専使を遣わし、夏安居を慰問された。七月十五日に龍溪は解夏の後、仙洞に赴き謝恩し、その足で登樂し萬福寺に隠元禪師を尋ね、慶瑞寺に向かった。

八月の初め、大坂の諸檀護(信者)の招きに応じて正明寺を出発、途中黄檗山に隠元を省觀され、摂津西成郡壺島(壺)の九島庵に赴いた。

余談になるが、平成十年十月に拙院の修養会で拝塔した龍溪が住持された妙心寺塔頭「靈雲院」で、禅学の碩学の京都大学名誉教授柳田聖山先生から九島院の読み方を「くとういん」じゃないかと説示された。九を「きゅう」と読むのは近代のこと、当時は「く」と

読み習わしていたとのことだった。

途中、弟子の達空道有が留守番をしていた摂津富田の慶瑞寺に立ち寄り、本堂建立(元禄年間)なども協議し、十四日大衆に次の偈を示した。

六根涉境那言滅 心不随縁豈謂生
踏転涅槃真正道 帰程唱水調歌行
『黄檗宗源慶瑞寺紀要』今井貫一著によれば、「偈中涅槃の道を踏で水調歌を唱ふと云へるは預め識を伽陀に託し躰て水却を仮りて近かんことを示せるものか。」とあり、水難を予想されての詩偈とみる見方もある。

水調歌は、随の煬帝が作詩し唐代に流行した哀調のこもった曲のことか。

翌日、大弟子の拙道道微の住持する九島庵、現在の九島院に落ち着く。壺島庵の寺の近くには御船番所という奉行所があり、奉行の高林又兵衛・森川六左衛門らの招請で禅書の提唱があり龍溪の説法は格別の緊張で、拝聴者一同大いに感動したようで、翌朝奉行は与力衆を答礼のため差し遣わした。

『摂津名所圖會』には、「師の

高聲に舉揚され、群聽簪動し」とある。

その日早朝より俄に暴風雨がこの地を襲って、天地を震動させる大災禍が突発した。『摂陽奇観』には、「大風吹西海より波浪起りて難波の近郷にあふれ枚方の邊まで至る。商人航海に沈みて溺死するもの幾萬人とも數知れず未曾有の事也」と記している。

グレゴリー太陽曆に換算すれば、現在の九月十七日で、この大災禍は東日本大地震で襲来したような海嘯ではなく、台風風の風壓による高潮が怒濤となって襲来したものと考える。数年前に九州天草を襲った台風では、瞬く間に六メートルもの高潮を記録したという。

『大坂編年史』には、「八月廿三日辰ノ下刻より午ノ刻迄、天風雨。木津川口・四賢嶋高潮打寄、御舟奉行高林又兵衛・森川六左衛門與力四人、竝妻子・下人溺死。此外難波浦の者百廿三人流死。禅僧龍溪も此所にて死。大坂町屋十九間潰る。海邊の田畑大かた流町中橋十ヶ所落、御舟蔵八ッ流大來之天船・小船皆流。」

(略)・異説に云、森川六左衛門與力増田權右衛門齋藤清太夫、高林又兵衛與力富田源右衛門・森孫左衛門與力妻子・下人・水主妻子合九十六人溺死、與力の家九間水主不殘流る。高林又兵衛組水主七人溺死。與力家四間・水主家并間流。與力妻子・下人水主妻子合廿七人、中にも彼龍溪といふ者本妙心寺派の智識にして、

紫衣の長老たりしか、後隠元派に帰依し、紫衣をも打捨、偏に悟道見性に眼を暴す。然に津波さし來り、早く此所を出給へといへとも、聊不動、臨終正念にして、浪の藻くつと沈けるとなり」とある。九島庵は、尻無川・木津川河口の壺島にあり海辺にも近く、怒濤の為流されになり、庵主の拙道は弟子たちとともに龍溪に避難を促したが動かず、龍溪は「生死は数(さだめ)なり、其れ逃れるべけんや汝等端心正念して可なり」と述べ、筆を索めて従容として次の遺偈をしたため、篋(小箱)に収めた。

三十年前恨未消
幾回受屈爛藤条
今晨怒氣向人撰
喝一喝

却倒胥江八月潮

この遺偈は縦横五寸の小さなものであるが、慶瑞寺に存する。

この時、忽ち激しい波が漲り「屋裂け、一時に煙没す。師独り水中に跌坐し、夷然として動かず」(塔銘)と、龍溪の最後を銘している。(つづく)



龍溪禪師水定図

当院は、阪神なんば線で、

なんばから7分です。

大阪市仏教青年会 会長就任 ご報告

この度、役員改選に伴い大阪市仏教青年会の会長に就任いたしました。任期は2年間で平成27年5月31日までです。

ありがたいご縁を頂戴いたしました事を感謝し、色々勉強させて頂きます。

仏教青年会での取り組みなどを九島院でも活かせるように日々精進致しますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

九島院副住職 奥田穂積 合掌



だるま堂3階 内部

『だるま堂』落成慶讃法要
春彼岸法要にてお披露目



檀信徒の皆さまへ

3月23日、山門会(春彼岸法要)にてだるま堂落成慶讃法要を執り行いました。約50名の参詣を頂きました。手狭ではございましたが、少人数のご法事などに使用したく考えています。

このだるま堂はお檀家の皆様のおかげで建立することができました。また、過分なお祝いを頂戴いたしました事、本紙面をもつて御礼と代えさせて頂きます。

今後とも、九島院にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(住職 合掌)

行事報告

3/30 写経会：参加者 十名
8回目の開催。

5/18 お寺deヨガ
：参加者四十名

6回目の開催。毎回たくさんのご参加、ありがとうございます。

行事予定

地蔵盆子ども会

開催日 8月22日(木) 14時
多くの子ども達にご来院いただき楽しいひと時を過ごしましょう。

チャリティーバザーでの売上金及びご寄付・浄財の合計は、
¥27,560 でした。

全額アユース国際仏教ネットワーク様に委託し、東日本大震災復興支援に役立ててもらいました。



皆様からご提供いただいた約400点以上の品々から、約200点以上を購入していただきました。

お檀家さんも含め、地域の方にもたくさんご来院頂き、賑やかに開催できました。感謝申し上げます。

5/18 お寺deバザー

写経会

開催日 9月28日(土) 15時
七回目の開催です。どなた様でもご参加可能です。

お寺deヨガ

開催日 10月26日(土) 14時
五回目の開催です。老若男女問わず、どなた様でもご参加OK。初心者向きです。本堂で寝転がってみませんか？

修養会

開催予定日 11月9日(土)
十九回目の開催です。本年は、難波つづげん寺拝塔と水都大阪貸切クルーズを企画中です。貸切クルーズの予約開始日が3ヶ月前の為、本ツアーは確定したものではありません。中止になる場合もございます。詳細は、お寺までお問い合わせください。

※その他、新たな行事を計画中。詳しくは、ホームページもしくは、Facebookページを見てね！

永代供養墓 だいきじょうさん
大亀地蔵尊
当院が永代に管理供養し、無縁仏とならないお墓で、遺族・ご家族にも安心して頂けます。

宗旨・宗派は問いません

- ご縁のある方のご遺骨をお預かりの方
- 墓地を整理してお骨を移したい方
- お墓の継承者がいない方

永代冥加金
一霊 30万円/二霊 50万円
併せて永代祀堂位牌(1万~5万)が必要となります。(管理料は不要)

きゆうとういん
黄檗宗(禅) 九島院
霊亀山
TEL. 6583-2725 <http://kyutouin.or.jp>
新規境内墓地もあります

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

九条から阪神三宮駅・近鉄奈良駅まで一直線！

奉納便り

○金式拾萬円御寄進 (平成廿五年六月八日)

岡田友子・林栄子・木口きく子様よりご寄付頂きました。寄付のお願いはしておりませんが、折角の申し出ですので、有り難く拝受させていただきます。実母と祖母の年忌法要を機縁にご供養にとご寄進されました。お寺のために有意義に使わせて頂きます。

○『だるま堂』落慶に際して、二十七名の方々から、お祝いを頂きました。誠に有難うございました。

編集後記

▼『だるま堂』落慶や、大阪教区の宗祖忌や豊中瑞輪寺の落慶法要、塔頭萬松院の派祖忌、副住職が全日本仏教青年会主催の全国大会の事務局長を務めるなど、公的行事が重なり多忙を極めた五月でした。

▼私的には、長女の結婚式や『だるま堂』への引越作業などもあり、ようやく五月廿三日に『だるま堂』に転居することができました。▼引越は、とても疲れます。小生六十一歳、肉体的にはこれが最後と、『断捨離』に勤めました。

▼「忙しい」とは、心が亡くなること、不要なモノを捨て、幾分か心がスッキリしました。▼あと、何年生きれるでしょうか?『身辺整理』をかねて、徹底的に不要品を処分しました。でも、捨てる・捨てないを決めるとき様々な思いがよぎり、決断しかねます。▼「生きていくことは、垢をつけていくこと」放つとけば、物心ともども垢まみれになります。▼曹洞宗『修証義』に、「唯独り黄泉に趣くのみなり、己に随い行くは、善悪業等ののみなり」とあり、少しでも善業を積んで逝きたいものです。

●NHK受信料●

先日、小生がボランティアをしている『大阪仏教テレホン相談室』に一本の電話がかかってきました。5時の終了までわずか15分でしたので、嫌だなあと思いつつも受話器をとりました。

「愚痴を聞いてください」という初老婦人。聞けば、十年前の雨の降る夜にピンポンというチャイムで玄関扉を開けたところ、いきなりボサボサ髪の男が勝手に上がり込みNHK受信契約をせまったそうで、怖くなった彼女は不承不承、受信契約を結びました。しかし、今年になり、受信料を支払わない彼女のもとに、今までの受信料総額の請求が届いたとのことでした。

受付窓口に、「年金生活のためそんな金額はとても払えない、死んでしまう」と答えたら、「死ぬのは、あんたの勝手」と、まるで金融屋の取り立てのような言い方をされ、憤懣やるかたなく電話相談をかけたのです。

5月28日、NHKは平成24年度末の受信料世帯支払率の都道府県別推計を公表しました。最も高かったのは秋田県の95.7%、最低は沖縄の44.3%で、全都道府県で支払率が上昇しているとのことで、大阪は全国ワースト2位で58.0%で、ついで東京61.6%と、都市部での不払い率が高いのだそうです。

放送法の「テレビ受信機を設置したら、NHKと受信契約をしなければならない」にもとづく、放送契約ですが、契約を結んだ以上、支払の督促は当然のこと、民法上の支払の義務が生じます。いくら近隣に受信料不払いの家庭が多いからといっても、逃げるわけにはいかないのです。契約上の不備を理由に、受信機を壊して契約解除を申し入れるしか方法はないと、弁護士会の電話番号を教えました。

受信料契約の法人委託など、受信契約アップの営業改革をするまえに、受信料支払の不正を正し、地上波にもスクランブルを導入するか、受像機自体に一定の料金を課金するなど改革してもらいたい。



水灯会(お施餓鬼法要)

8月19日(月)午後1時半より

※ご先祖供養。宗旨に関係ありません。
ご回向お申込み下さい。法話：住職

大亀地藏尊盆

8月23日(金)午後7時半より

※大亀地藏尊埋葬者供養の法要